

メッセージリレー 支え合う地域の仲間たちから、認知症の人や家族へ



経堂あんしん
すこやかセンター
杉浦さん



若林あんしんすこやかセンター

浅井さん、奥村さん、伊藤さん

世田谷区内の、支え合う地域の仲間たちから、認知症の人や家族へのメッセージを一冊のスケッチブックでリレーしていくコーナーです。あなたのまちの仲間も登場します。



わたしたちのお仕事紹介します！

若年性認知症講演会を開催しています

若年性認知症講演会

詳細は、こちらから ▶▶



認知症は一般的に高齢者に多いというイメージですが、65歳未満で発症した認知症のことを若年性認知症と言います。若年性認知症は社会的役割を担う年齢層に発症することが多く、ご本人だけでなくご家族の生活にも大きく影響するのが特徴です。ご本人が違和感を感じたり、周囲の人がいつもと言動が違っていると感じたりするなどの「気づき」が早期発見・早期対応につながります。

若年性認知症講演会では、専門家による若年性認知症の医学的知識や受診につながるアドバイス、若年性認知症の方を取り巻く現状やケアの方法について講演します。様々な方に若年性認知症の情報や知識を知っていただく機会として年に1回開催しています。



令和2年10月1日、

「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」が施行されました！

世田谷区ホームページからご覧いただけます ▶▶



ご本人やご家族含め、区民の皆様と一緒に作り上げた条例です！



にんさぽだよりへの感想はこちらから！



世田谷区認知症在宅生活サポートセンター

(運営委託法人：医療法人社団プラタナス／桜新町アーバンクリニック)

〒156-0043 東京都世田谷区松原6-37-10
世田谷区立保健医療福祉総合プラザ1F

電話 ▶▶ 03-6379-4315

FAX ▶▶ 03-6379-4316

▼ ホームページ

<https://setagaya-ninsapo.jp/>

令和3年10月発行

これまでの
にんさぽだよりは
ホームページから
ご覧いただけます

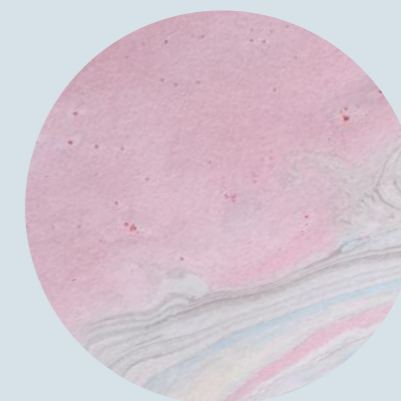


世田谷区

にんさぽだより

第7号

世田谷区認知症在宅生活サポートセンター



特集

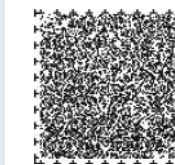
認知症初期
集中支援
チーム事業
ってなに？

知りたい！

表紙中央のマーブリング作品は、認知症当事者であるさきこさんが制作しました。

にんさぽだよりとは？

世田谷区が開設した世田谷区認知症在宅生活サポートセンターの機関誌です。認知症の人、関わっている方々を応援し、気持ちの支えになればという想いで作っております。



音声コード

認知症初期集中支援チーム事業ってなに？

世田谷区のここがすごい!

認知症初期集中支援チームのモデル事業として、全国で先陣を切ってスタートしました!

世田谷区のここがすごい!

関わる職種が充実しています! 看護師・医師だけでなく、薬剤師・作業療法士・精神保健福祉士など、多方面から支援します。

世田谷区のここがすごい!

平成22年度から認知症初期集中支援チーム事業のベースとなる「認知症高齢者見守り訪問事業」を独自に実施。認知症の人が在宅生活を安心して継続できるように、早くから取り組んできました!

認知症初期集中支援チームとは?

40歳以上の在宅で生活している認知症(疑いを含む)の人とご家族を支援する、専門職によるチームです。看護師、作業療法士、精神保健福祉士、医師等で構成しています。

事業の内容は?

心配なことや困っていることをお伺いするため、定期的にご自宅を訪問します(6ヶ月程度)。「認知症のご本人がどのような生活を望んでいるか」といった思いを確認し、住み慣れた地域で暮らし続けるために、早期対応・早期支援を行います。ご家族には認知症に関する正しい情報提供を行い、認知症の進行や介護に関する心理的負担の軽減のほか、適切な医療や介護サービス等への円滑な導入などを目指します。



世田谷区
高齢福祉部
介護予防・
地域支援課の
皆さんへ
インタビュー



全国に先駆け、世田谷区でこの事業に取り組みましたのはなぜですか?

世田谷区では、平成22~24年度、認知症の人のご自宅を看護師が定期的に訪問して支援する「認知症高齢者見守り訪問看護事業」の実績があり、認知症の人への早期対応・早期支援の充実を図るため、平成25年度より、認知症初期集中支援チーム事業に取り組みました。

この事業で大切にしている点はなんですか?

認知症の人とそのご家族が安心して暮らし続けられるよう、事業を開始した当初より、あんしんすこやかセンター・認知症初期集中支援チーム事業のチーム員・区の三者が、一丸となって取り組むことを大切にしました。

認知症初期集中支援チーム事業の流れ(実施例)

初期集中支援の様子



あんしんすこやかセンターに相談

認知症初期集中支援チーム事業 (支援期間6ヶ月) ※1~2ヶ月に1回、ご自宅を訪問

あんしんすこやかセンター等による支援の継続

本人

最近、もの忘れが気になるなあ...

外に出かけることがおっくうで、部屋に閉じこもりがちになったなあ。

夫が認知症かも...?

どこに相談したらいいのかわからなくて困っちゃうわ。

家族

まずは、あんしんすこやかセンターに相談へ (地域包括支援センター)

認知症初期集中支援チーム事業を紹介された生活状況の確認のため、あんしんすこやかセンター職員が家庭訪問



初回訪問

看護師や作業療法士が訪問

血圧やもの忘れの進み具合についての話

身の回りのことをいろいろ相談できて安心したわ!

状態に応じた専門職の訪問

管理栄養士が訪問

本人に適した栄養の摂り方を説明

薬剤師が訪問

内服薬を整理

医師が状態を確認

本人に合った医療機関を提案

本人の希望を支援

精神保健福祉士と話し合い

今の生活状況と今後の暮らし方について聞き取り

支えてくれる人がいることを知って、気持ちが軽くなってきたぞ。

サービスの提案

あんしんすこやかセンターからサービスの紹介

介護サービスや活躍できる場所について説明

在宅生活を続けるための必要な医療・介護サービスが整った

これからの生活に希望を持ち、安心して暮らせようになった!

